

2012年7月30日

デルタ航空、2012年8月以降発券分日本発着便の 燃油サーチャージを一部変更

【東京、2012年7月30日】- デルタ航空(NYSE: DAL)は、2012年8月1日以降発券分の日本発着の燃油サーチャージの金額を一部変更し、7月27日付けで国土交通省の認可を受けたと発表しました。

詳細は以下のとおりです。

デルタ航空日本発券分燃油サーチャージ

1 旅客 1 区間片道当たり燃油サーチャージ額 (単位:円)			
対象路線	2012年7月31日発券分まで (2012年5月8日付国土交通省認可)		2012年8月1日発券分より (2012年7月27日付国土交通省認可)
日本-北米	ビジネスクラス 29,000	エコノミークラス 27,000	23,500
日本-ハワイ	16,500		15,000
日本-タイ・シンガポール	13,000		11,500
日本-マイクロネシア (グアム・サイパン・パラオ)・ フィリピン	8,000		7,000
日本-中国・台湾・香港	6,500		6,000
日本-韓国	2,500		2,200

*2ヶ月毎に航空燃油(シンガポールケロシン)価格を確認し、予め設定された条件額を下回った場合、もしくは上回った場合、翌々月1日からの変更を関係国政府に認可申請します。

上記サーチャージ額は2012年9月30日発券分までの固定額です

*日本-中南米については、別途に燃油サーチャージを設けています。2012年7月31日発券分まではビジネスクラスは片道30,000円、エコノミークラスは片道28,000円、2012年8月1日発券分からはビジネスクラス・エコノミークラス共に片道24,500円となります。同路線の燃油サーチャージは、上記改定条件に準じません。

*本サーチャージには割引の適用はございません。大人・小児・幼児ともに同額のご負担をお願いしています。

ただし、座席を使用しない2歳未満の幼児は本サーチャージの対象外となっております。

デルタ航空は年間1億6,000万人以上の搭乗者数と広範なネットワークを持つ航空会社です。昨年はトラベルウィークリー誌の読者により「米国内ベストエアライン(domestic "Airline of the Year")」に、PCWorld誌の「最もテクノロジーの進んだ(Tech-Friendly)米国内航空会社」に選出されたほか、ビジネストラベルニュース誌のエアラインサーベイでも賞を受賞しました。デルタ航空およびデルタ・コネクションの運航便とあわせて、世界65カ国、350近くの都市に向けてフライトを運航しています。世界で8万人以上の従業員を擁し、700機以上の主要機材を運航しています。デルタ航空は、航空連合(アライアンス)「スカイチーム」の創立メンバーとして、大西洋路線においてエールフランス-KLM、アリタリア-イタリア航空とともに、共同事業を展開しています。アトランタ、シンシナティ、デトロイト、メンフィス、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク(JFK)、ソルトレイクシティ、パリ(シャルルドゴール)、アムステルダム、東京(成田)をハブ空港とし、提携航空会社と合わせて一日に1万3,000便以上のフライトを運航しています。デルタ航空のサービスには、世界最大のマイレージプログラム「スカイマイル」、各賞を受賞しているビジネスクラス「ビジネスエリート」、世界中の空港に50箇所以上設置しているラウンジ「デルタ スカイクラブ」等があります。デルタ航空は2013年にかけて総額30億ドルを投じて空港施設やプロダクト、空港および機内での顧客サービス向上とテクノロジー導入を進めています。詳しくはホームページ delta.com をご覧ください。

<報道関係者お問い合わせ先>

デルタ航空太平洋地区広報部

e-mail: corpcommjapan@delta.com

日本語ニュースルーム <http://delta.jp.mediaroom.com/>